



MORINOMIYA COLLEGE OF
MEDICAL ARTS AND SCIENCES

森ノ宮医療学園専門学校

校友会会報

2001年 6月号

初春号(2001.6発行) 森ノ宮医療学園校友会会報〒537-0022
編集発行責任者 大阪市東成区中本4-1-8 TEL.(06)6976-6889
浜田 暁 URL http://www.morinomiya.ac.jp/



理事長就任挨拶



前理事長坂口弘先生が任期満了によりご退任されたため、去る3月24日の評議

俊豪 理事長
森 員会、理事会

において、その後任として理事長に選任されました。理事長職を務め早2ヶ月あまり、改めてその重責に身の引き締まる思いです。学園は昨年の柔道整復学科の開設以来、校名変更、校舎増改築工事の竣工、そして今年4月からの鍼灸学科入学生定員増と大きく様変わりしました。しかし、創立以来の「臨床に優れた医療人を育成する」という建学の精神に変わりはありません。景気が低迷し、規制緩和等で急激に社会状況が変化中、私たち医療人がいかに社会に貢献できるか問われています。先人が残してくれた貴重な遺産である心と技の伝統医療は、いつの世にも価値あるものです。しかし、それをいかに社会に提供するかは、今の世を生きる私たちの手腕にかかっています。なにもしなければ、何も変わらないのではなく、すべてを失いかねないのです。先の読めない時代にあり、自らを変化させるのに躊躇せざるをえないのですが、抛って立つ処を見失うこと無く、自分の目で確かめ研究し、僅かな事からでも改革してゆく勇気が必要でありましょう。学園は今後も臨床教育に重点を置きながら、社会情勢の変化に対応すべく新カリキュ

ラムを導入すると共に、卒業生への情報発信基地としてさらに充実した機能を備えるべく努力してゆく所存です。校友会への具体的なサービスについては、出版事業の拡大、図書閲覧・貸し出しの簡素化、インターネットを利用した就職・開業・臨床指導、附属診療所との臨床連携の充実などを計画しております。学園と学園の宝である在校生・卒業生の皆さんが、共に発展すべく、これからも共に考えて行きたいと思っています。これまでに学園を支えてくださった、校友会の皆さんに、心からの感謝を申し上げます。ともに、更なるご支援を賜りたくお願い致します。

鍼灸学科 新入生歓迎



鍼灸学科 新入生歓迎会

鍼灸学科は増員に伴い、1クラスが30人から60人となり「二十四の瞳」風に言いますと、1クラス「六十の瞳」から「百二十の瞳」となり、言い換えれば鋭い視線、温かい視線共に増幅され、教員としては視線の針のむしろ状態にならぬ様(？)、大変な努力がいくつあるかと思えます。今までの調子で視線を配ると両端まで見えないし、後端はなにやら霞みがかかり(少しばかりオーバーですが)

教室はとてつもなく広く感じます。しかし視線だけは鋭く感じ動物園の檻の中にあるようで心配です。

鍼灸学科 一年担任 房前素徳

柔整学科も2期生を迎え、柔整学科としては初めての「新入生歓迎会」が行われました。

昨年は歓迎してくれる上級生がいなかったで行われなかったのですが、そのぶん2年生にとっては「自分達にとっての歓迎会でもある」との意識もあって、予想以上に盛り上がりました。そのノリと勢いにまだ初々しさの残る1年生はやや圧倒されて、ぎこちない様子でした。



柔整学科 新入生歓迎会

しかし、本校で1年間学んできた学生と直接話をしたり、教職員と触れあうことで、学校の雰囲気を知り、親しみをもちあうきっかけになったようです。

柔道整復学科 一年担任 葉山直史

「はりきゅうミュージアム」所蔵品紹介

会報上欄に学園所蔵資料を紹介していくことになりました。

●「佐賀竹田家伝銅人形」

体高80cm×肩幅17cm

江戸前〜中期

紙製

平成12年度 卒業生表彰者名



賞名	クラス	氏名	クラス	氏名
学 校 表 彰				
優 秀 賞	昼	小笹真希		
精 励 賞	昼	岡 智宏	夜	久次米政孝
			夜	山本華代
努力賞	昼	雲晴光弘	夜	大村朋子
	昼	西田大祐	夜	国枝三起子
	昼	渡辺喜美代	夜	徳野さよ
協力賞	昼	白口俊彦	夜	小笹真希
	昼	善村嘉祐		

団体及び業界からの表彰

大阪府知事賞	昼	磯部由美子		
東洋療法学校協会会長賞	昼	平塚裕務		
日本鍼灸師会長賞	昼	川上恵子		
大阪府鍼灸師会長賞	昼	空 俊一		
全日本鍼灸マッサージ師会長賞	昼	平沢 恵		
大阪府鍼灸マッサージ師会長賞	昼	高柳裕一		
医道の日本社賞	昼	尾崎茂雄		
専修学校名誉会長賞	昼	白口俊彦	夜	大谷始代
卒業論文賞(優秀)	昼	磯部由美子	夜	大谷始代
	昼	平沢 恵	夜	川上恵子
			夜	徳野さよ
校友会会長賞	夜	山本華代		

第26回 卒業式



去る3月11日、本校講堂にて森ノ宮医療学園専門学校として初めて送り出す、平成13年度の卒業式が行われました。

安雲和四郎校長は「皆さんは、本校が大きく変化する中で3年間を過ごされました。その間には校舎の増改築工事もあり、大変不自由をかけたにも関わらず、勉学に専念されたことを大変感慨深く思っています。これから、名実共に21世紀に羽ばたく医療人になるよう、豊かな感性を持ち続け、日々研鑽し、臨床現場でかけがえない鍼灸師になって地域医療に貢献していただくことを希望します。」とはなむけの言葉を贈られました。

第9回はり師・きゅう師国家試験結果

第9回はり師・きゅう師国家試験が2月25日に実施され、3月27日に発表が行われました。本校の結果は下記の通りです。

はり師 本校合格率95.1%(現役) 全国平均83.3%
きゅう師 本校合格率95.1%(現役) 全国平均84.9%

第29回 入学式



去る4月8日、第29回入学式が本校新校舎講堂にて初めて行われました。いつものようにフレッシュな新入生の皆さんが森ノ宮医療学園の門をくぐり、まっさらな教科書を重そうに抱える姿が見られ、何ら変らぬ光景が繰り広げられました。しかし、昨年まで本校で行われていた入学式と大きく違う点がありました。それは、4倍の新入生を迎え入れることでした(60名→240名)。昨年は柔道整復学科の増設によって180名の新入生を迎えたのですが、入学式は校舎建設のため国民會館で執り行われました。本年は新校舎で多くの新入生を初めて迎えることになり、教職員一同改めて身の引き締まる思いの入学式でした。



人間学研究会、甲南大学との共同研究会

社会学 榎井 靖之

人間学研究会の野外活動として、谷口文章会長主催の「地球環境と世界市民」国際協会第4回大会(4月28~30日)に、学生13名とともに参加した。山菜取りやビオトープ観察などのフィールドワークの後、谷口文章甲南大学文学部教授や谷莊吉はやしやまクリニック名誉院長(元東京大学医学部助教授)を囲んで、学生とともに医療の現場における生命倫理、医療倫理の問題について話した。

安雲和四郎校長は新入生に対し、「伝統医学の探究を通じて臨床に優れた医療人を育成し、医学・医療の発展に貢献する」という学園の理念、および学園の精神である「生命への愛と畏敬」にふれながら、「豊かな感性を養い、地域医療に貢献できる医療人となるよう、有意義に学園生活を過ごしてください。」と式辞を述べられました。

サンタバーバラの嵐

鍼灸学科教務課長
森 優也

新年度が始まって間もない4月16日から26日の11日間にわたって、本校姉妹校のカリフォルニア州のSanta Barbara College of Oriental Medicine (以下SBCOM)より、8名のアメリカ人が本校にやって来ました。この8名の内訳は、SBCOM校長のジョアン・トール先生(女性です!)と恋人のビル、それとエバ・マサ、ジェニファ・メアリーの4名の女性と、男性のビルの計5名の研修生と通訳のケンジ(日本人ですがアメリカ国籍を持っています)です。



開校式の模様

ジョアン校長先生は、森ノ宮医療学園と新たな提携を結ぶため来校しました。また、研修生達は日本の鍼灸を本校で学ぶため研修に参加し、日本の文化に触れるという目的のために来日しました。

ジョアン校長先生には、鍼灸学科2年生に特別講義を行っていただきました。そして4月23日に無事調印式を済ませた後、アメリカへ帰国されました。

また研修生達は、午前中は本校附属診療所、兵庫県立尼崎病院東洋医学研究所、藤本漢洋院の3カ所での臨床実習に加え、午後には本校講師陣の特別講義や鍼灸学科の学生達の授業に参加しました。スケジュールはほぼ毎日朝9時から夜9時までと非常にハードでした。私は彼らが、音を上げることなく全てのプログラムに興味を持ち消化したことに、非常に驚かされました。

カリフォルニア州をはじめ米国での鍼灸の基本的な考え方は、中医学がベースになっています。従って、彼らは、中医学での診察・診断を元に、鍼灸、湯液、マッサージなどを複合的に使い治療を行っています。この考え方はSBCOMでも同様で、それに従って教育が行われています。(私、今年の1月にSBCOMを訪問し、ちゃんと見てきました。)

それ故に、来日前に彼らが日本の鍼灸に興味を持っていたのは、お灸の手法と腹診の手法でした。今回それらを学ぶようプログラムを組んだのですが、その中でも彼らが一番に興味を持ったのは皮膚の状態から細やかな情報を得るという日本で行われている切診に対する考え方でした。もちろんこれは取穴の際にも同様で、日本では経穴(ツボ)を探るという行為が日常的にされていることに対しては全く感銘していたようでした。

- 卒業されてから何年になりますか?
7年(19期生居間部)です。
- 年齢は。
現在は満30歳です。
- 開業されたのは。
卒業した年の5月です。
- 開業時の目標や理念は?
西洋医学も医学ならば、鍼灸も医学であるという立場で診療していく事です。つまりは、チャレンジ精神です。
- 現在の患者さんに対する治療のアプローチ法は。
難経・靈樞・素問など伝統に基づいた鍼灸を基にしています。また日本人にあった臨床と言ったところでは日本の鍼灸古流派の捉え方も参考にしています。
- 現在、参加されている勉強会はありません。玄珠堂鍼灸院で勉強会はしています。
- そこではどんな事をテーマにされているのですか?
さまざまな手法の脈診がありますが、それぞれの脈診の位置づけをテーマとしています。手法においては難経を軸として、瀕湖脈学や人迎氣口診を用いる上で三因極一病証方論などを参考にしています。
- 腹診はどういった手法でされるのですか?
主には夢分流腹診をします。難経腹診もしますが、現在の来院患者数はとくぐらいですか?
20人前後です。
- いま、最も興味を持っているのは?
婦人科の領域です。特に積病に関すると思われる子宮筋腫・子宮内腺症です。
- 今まで診察した中で最も興味深かった患者さんは?
筋ジストロフィーの患者さんですね。
- 同じ鍼灸師として、これから育っていく鍼灸師に必要なと思われる物はなんでしょう?
鍼灸も医学なんだという自覚が必要だと思います。また、高い志をもっているにしたい。私の学生時代は、学校授業というものはリアルティに乏しかったです。現実、学校に入学する前の方が東洋医学に対する熱意があった人が多かった。しかし、3年間のうちにその熱意が失われていくように感じました。
- これからの学校教育に残された課題は、国家試験対策も大事ではありますが、臨床のできる鍼灸師を育てることですね。
- これから勉強しようと思っておられる方に何かアドバイスがあれば、お願いします。
常識とされている自然科学の認識と感覚を捨てることではないでしょうか。
- その他、何か意見をよろしく、お願いいたします。

ある意味、学校が国家試験対策的になっていくことは当然のことだと思えます。しかし、東洋医学のマイナスイメージになる言葉を発することだけは避けていたきたい。学校での古典研究会などの課外活動を活発に行い、先輩から後輩へと橋渡しすることが大事ではないでしょうか。

活躍する卒業生に聞く



藤本 彰宣 先生

(19期居間部)
和泉市

取材 小島賢久(鍼灸学科教員)
小笹真希(鍼灸学科講師)

新任常勤教職員の紹介



そとまつ えみこ
外松 恵三子 さん

(事務)
●女子野球やっています。
メンバー、コーチ募集中。



ふささえ もとのり
房前 素徳 先生

(教務)
●大阪鍼灸専門学校出身
●好きな食べ物は、動物クッキーです。
よろしくお願いします。



きよはら ゆうこ
清原 優子 さん

(事務)
●現在、最年少ということで、学生さんと間違われないうちに頑張ります。
よろしくお願いします。



あさり ゆか
浅利 有香 さん

(事務)
●時々、ものすごくどんくさい事をしますが、笑って許してください。

21期夜間部同窓会



平成13年4月22日大阪心斎橋ホテル日航大阪内に第21期夜間部同窓会が開催された。卒業後、毎年開催し6回を数えたが、今回は卒業生12名、教員2名の参加を得ることができた。

参加者のほぼ8割の者が鍼灸の他、医療関係の仕事に従事しており、当日は様々な情報交換を行うことができた。

今後も同窓生のネットワークひいては、森宮医療学園のネットワークの輪を広げることができればと感じました。

(21期 夜間部 瀧尻 勝也)

サンタバーバラからの短期アメリカ人留学生が我が校に来て2週間、嵐のように来て嵐のように去っていった。まさしく到着時間や、通過地点、そしてその規模など、直前に気象レーダーならぬインターネットのe-mailではばその大きさ規模や、被害(失礼!)などちょっと類推がつくので、台風と似てなくとも無いあと率直な気持ちであった。彼らは総勢8名内訳は、SBCOM(サンタバーバラ・カレッジ・オブ・オリエンタルメディシン)学生の5名と校長のJoann女史とその夫、通訳のkennjiの一行である。彼らはそれぞれバラバラに来て、バラバラにサンタバーバラへ帰っていった。あまり団体行動をすることを良しとしないのか、個人発想が確立しているためなのか、とにかく、気持ちが良いほどに「個」が独立しているようにも見受けられる。彼ら学生は、主婦あり、合気道の道場主あり、インターンありと我が校学生と同様、基本的

な職種がいろいろ違い、年令も20代から50代までバラエティに富んでいて、おもしろい。また、日本への来訪はJoann校長を除いてはじめての経験で、彼らなりの事前調査と達成目標を掲げての待望の来日である。彼らの専門である鍼灸の勉強を深めるだけではなく、それ以外の興味の方向性も違っていて、温泉に行きたかったり、合気道や生け花をしてみたいと言ったり、いっぱい立ち飲みやに行きたいとか、これもアメリカ人ならではの興味なのだなと思う。

彼らのアメリカでの学校生活は、午後5時から10時ぐらいまでで、日本の夜間部とほぼ同じようだが、授業を受ける態度や雰囲気は大きく異なる。まず、授業料は誰が払っているかといえば、ほぼ100%学生本人であろう。当然、奨学金制度や、学費ローンなどが充実しているものの、アメリカの社会的風土からも大学の学費は自身でと

言う風潮が徹底しているように思う。そのことから、学生の教員に対する態度が授業料を取り返すのだという気迫に満ちており、質疑応答が非常に活発で、教員の一方通行だけではなく、教員と学生、また学生の中でもディスカッションが非常に盛んである。また、現象面では、教室の雰囲気は非常にリラックスしたもので、お茶を飲んだり、あるものはサンドイッチをかじりながら、あるものは、床面に直接座り込んで、ストレッチ体操をしながら授業を受けているあるいは参加しているという、独特の雰囲気を醸し出している。彼らはどちらかと言えば、授業は受けるものではなく、参画している意識の方が強いような感じがする。今、世の中は、双方向通信であるとか、ネット社会、参画型の社会と言われるようになって久しいが、学校や臨床の現場もますます、ネット型、双方向のやりとりと参画が重要になってくるような気がする。

在校生のサークル活動紹介

No.4

柔道部



今回は活動を開始したばかりで、まだ正式に「部」にはなっていませんが、今後の活躍が期待される「柔道部」を紹介します。

なお、前号でご紹介した「スポーツ医学研究会」は5月の学生会において「部活動」として正式に承認されました。

1.現在の人数

鍼灸学科、柔道整復学科あわせて20数名程度

2.リーダー

現在のところ、岡本先生の指導のもとに有段者数名で担当

3.活動内容

週3〜4回、柔道の技術向上、基礎体力作りを目標に、1時間半から2時間程度の練習。

4.今後の予定

初心者は全員初段取得を目指しています。

5.その他

3ヶ月程度で体つきが、めきめき変わり体力がつかます。

書籍紹介

『牌の音(秘)STORIES』

(既刊4冊) みやわき心太郎著
竹書房発行

麻雀で20年間無敗だった人がいると聞けば、眉唾もの、いかかわしさを覚える。それも、億単位のお金が動く賭博の世界だという。にわかには信じられない話。そんな

“伝説”の主、桜井章一という人が、勝負の世界を引退した後、麻雀を通して、お互いに磨き合っている場所を作った。この本(マンガ)は、そこに集う人物を通して、“伝説”にあらざる人間桜井章一に肉薄しようという作品。老荘的宗教性の香り漂うもので、麻雀を知らなくても充分楽しめます。(教務 横山浩之)

『鍼灸 OSAKA』最新号・好評発売中

<http://www.morinomiya.ac.jp/journal/>

60号(好評発売中)

特集 臨床シリーズ
トリガーポイント治療

カラーグラフ

「はりきゅうミュージアム」オープン!
主要経穴の局所解剖とCT画像所見

9. 膈中穴

施設紹介

「はりきゅうミュージアム」の誕生と
今後の展望

61号(最新号)

特集 臨床シリーズ
捻挫の診方と対処法
(足関節を中心に)

カラーグラフ

「黄帝經」臨機影写旧鈔本の出現

インタビュー

首藤傳明先生に聞く Part4(最終回)

教育講座

やさしい栄養学 第19章 消化・吸収

森ノ宮医療学園専門学校 出版部

B5判

1,942円(送料・税別)

年間購読料(季刊4冊) 7,340円(税込)

お問い合わせは TEL 06-6976-6500 FAX 06-6973-3133

掲示板

本欄は、

- ①校友会から校友会の方へのご連絡
- ②校友会の方から校友会へのご意見・ご要望

③校友会の方々同士のご連絡など、様々な目的で使用したいと思っています。よろしくお願いします。

連絡先: 森ノ宮医療学園専門学校校友会

編集者 清水尚道

TEL(06)-6976-6889

e-mail: koyukai@morinomiya.ac.jp

【校友会からのお願い】

住所変更をされる場合は、校友会に連絡していただくよう、お願いいたします。また、会報が届かない方をご存じの場合、ご転居先が校友会でわからなくなっていることが原因と考えられますので、現在の住所を校友会まで連絡していただければ幸いです。

【校友会ホームページ】

森ノ宮医療学園ホームページ

(<http://www.morinomiya.ac.jp>)に校友会のホームページがあります。アクセスして下さい。

【図書だより】

校友会会員の利用も、少しずつではありますが、増えてきました。図書室では、現代医学・整形外科・鍼灸(古典資料)関係の単行本や、雑誌のバックナンバーが揃っています。学会や研究会での発表、難しい疾患、ご自身の研究などにどんどんご利用下さい。来校前に電話を頂ければ幸いです。

メールアドレスが変わりました。

e-mail: tosyoo@morinomiya.ac.jpです。

(横山 浩之)

【校友会会報次号発行予定】2001年10月

編集後記

今年の4月はただでさえ新学期であわただしい時期が、森俊豪先生の新理事長就任や鍼灸学科の増員、サンタバーバラからの研修生来校に加え、鍼灸・柔道整復両学科の新入生歓迎会など、バケツをひっくり返したような大騒ぎで、ゴールデンウィークまで突っ走ってきました。校友会報をつくる側としては、行事が目白押しで記事に困ることがない程でよかったんですが…。今号より安田専務理事のコラムを毎月掲載する予定です。楽しみにしておいて下さい。なお、前号で校友会報の「名前」を募集しましたが、残念ながら応募はありませんでした。打ち切ってしまうのは寂しいので、もう少しだけ募集したいと思います。よろしくお願いします。

◆近々校友会会報を発行する予定です。ご協力よろしくお願いします。